



アベノミクスは道半ば、本音は憲法改定・・・

安倍内閣は二〇一二年暮れに発足。「景気が良いと購買力が高まり、物価が上がる筈」そこで、物価上昇年二%の目標を掲げ金融緩和。

安倍首相は「アベノミクスは道半ば、加速しなくては・・・」と云うが、加速されたら、金持ちは儲け、庶民の生活は悲惨になる。

一見景気は良くなったかのよう。事実、ソフトバンクやユニクロの経営者等十八人が千億以上も儲けた。

「大企業が儲ければ庶民にその恩恵がしたり落ちる」というが庶民には感じられない。

安倍氏は「雇用が良くなった」と力説。しかし、左の表のとおり非正規雇用が増え、正規雇用は減っている。

雇用形態別雇用者数			
総務省統計局ホームページより			
年度	2012	2015	
被雇用者	5157	5306	万人
正規	3327	3319	万人
非正規	1829	1987	万人
正規	64.5	62.6	%
非正規	35.5	37.5	%

参院選後に憲法論議

安倍首相は憲法改正は参院選後、議論すると云う。

しかし、今度選ばれた議員が改正案を国会で作るのだ。

自民党は既に憲法の戦力不保持(九条二項)を削る改定案を決めている。憲法九条骨抜きは即、戦争への道ではないか？

殆どの憲法学者が昨年秋に成立した安保法Ⅱ戦争法を憲法違反だと云っている。憲法改定しなくては集団的自衛権の行使はできないのだ。

皆さんはどう思われますか？

尾瀬ヶ原

群馬県利根郡片品村山ノ鼻



江間章子さんの「夏の思い出」そのままに、夏になると尾瀬に行つたことを思い出す。

四十年前前、会社に就職したばかりの頃、同僚に誘われて行つた。それを思い出しつつ、一昨年、尾瀬に行った。鳩待峠から山ノ鼻ビジターセンターを過ぎ、竜宮小屋に泊まった。翌日は雨の中、尾瀬沼を訪れ、尾瀬ヶ原に戻り東電小屋に宿泊。花を楽しみながら山ノ鼻に戻った。

近くに山ノ鼻植物研究見本園がある。鳩待峠からの距離もあまりないので、山歩きの装備でなくても散策でき、短時間で尾瀬を楽しめる。年配者でも心配のないコースだ。

ニッコウキスゲなどの草原の先が尾瀬ヶ原の中心。立ち枯れた木の先に至仏山が見えた。